

運用担当者等の開示について

ドイチェ・アセットマネジメント株式会社

DWSの運用

DWSは個人および機関投資家のお客さまに対し、すべての主要な上場および非上場の資産クラスにおける強固な運用能力と成長トレンドを適切に捉えた資産運用ソリューションへのアクセスを提供します。アクティブ、パッシブそしてオルタナティブ運用における多岐にわたる専門性と、ESG（環境、社会、企業統治）投資における積極的な取り組みは、お客さまの期待に応えるソリューションを提供する上で補完的な役割を果たします。エコノミスト、リサーチアナリスト、運用プロフェッショナルが有する専門性と現地に根ざした調査は、DWSのグローバル投資見通しである「[CIO View](#)」に集約され、我々の運用アプローチの戦略的な指針となっています。

運用プロセス

DWSの運用プロセスは、一貫して優れたリターンを提供することを目指しています。これは、継続的な品質管理に支えられた、規律ある3段階のアプローチです。収益性の高い運用戦略を生み出すために、ボトムアップのアプローチを追求しています。当社の一貫した体系的かつ透明性のある運用プロセスにより、最も良好な見通しを持つセクター、地域、テーマ、通貨、個別銘柄を特定することができます。

当社のエコノミストは、世界経済と主要経済地域について徹底的な分析を行います。マクロのリサーチの中で、主要なトレンドを特定し、GDP成長、インフレ、貿易フローなど、さまざまな要素への影響を分析します。当社の調査アナリストは、主要な市場セグメント、発行体、および証券に焦点を当てています。リスク調整後のリターンと評価を高めるために、基本的な運用環境に関する見方や、足元の市場価格について、特にESG要因の観点から、短期および長期的視点での評価を提供します。

マクロ経済とファンダメンタル分析、バリュエーションの評価といった要素が、CIO view（戦略的および戦術的）のベースとなる主要なインプットです。CIO viewは、運用の方向性と社内外のマインド設定を可能にする方向性のある世界観を示しています。CIO viewには2つの要素があります。戦略的な視点からは、長期的な見通しと方向性が、戦術的な視点からは、主要なグローバル市場の短期的な評価です。CIO viewはポートフォリオ構築の主要なインプット要素として機能し、その選好に沿ってポートフォリオに投資することが期待されます。さらに、戦術的なCIO viewでは、グローバルな総合ベンチマークの概念に基づいて相対的な価値の資産のアロケーションのアイデアを、一般的なポートフォリオの文脈において提供します。

品質管理は運用プロセス全体に沿って機能し、独立したチームによって成果が分析、評価される中で見直されています。パフォーマンス、リスク、プロセスの3つの主要な要素を包括的に合わせて分析する際に透明性をもたらします。

DWSグループの運用プロフェッショナル



399人

ドイツ



154人

欧州・中東・アフリカ
(ドイツを除く)



245人

米州



108人

アジア太平洋

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社の運用体制

	人員	平均在籍年数
運用部	5	16.2